

第1次  
大間町地球温暖化対策推進実行計画  
調査結果

青森県大間町

## I はじめに

大間町では「地球温暖化対策の推進に関する法律」第 20 条の 3 第 1 項に基づき、都道府県及び市町村に策定が義務付けられている温室効果ガスの排出量の削減のための措置に関する計画として「大間町地球温暖化対策実行計画」を策定し、環境負荷の低減に向けて取り組んできました。大間町の事務・事業の実施にあたっては、この計画に基づき、温室効果ガスの排出量の削減目標の実現に向けて様々な取組を行い、地球温暖化対策の推進を図ってきました。計画期間は平成 25 年度から平成 29 年度までの 5 ヶ年としております。

## II 対象範囲

役場庁舎、役場分室、教育委員会、大間町斎場、大間町下水処理場、種苗育成センター、クリーンセンター、一般廃棄物最終処分場、各課公用車、大間幼稚園、大間小学校、奥戸小学校、大間中学校、奥戸中学校、大間町立公民館、奥戸交流館、総合開発センター、農村婦人の家、漁業活性化センター、うみの子保育園、大間町立体育館、勤労青少年ホームで行う事務・事業

なお、指定管理者制度等により、外部委託を実施している事務・事業は対象外であるが、可能な限り受託者に対して、実行計画の趣旨に沿った取組みを実践するように要請する。

## III 取組内容

1. 太陽光発電、風力発電等の再生可能エネルギーの積極導入
2. 施設設備の改善等
3. 物品購入
4. 電気、燃料使用量の削減
5. ゴミの減量・リサイクル
6. 節水
7. 環境保全に関する意識向上、率先実行の推進

## IV 計画の目標

平成 24 年度を基準年度として、計画期間の最終年度である平成 29 年度の二酸化炭素排出量を 5 %削減

## V 調査結果

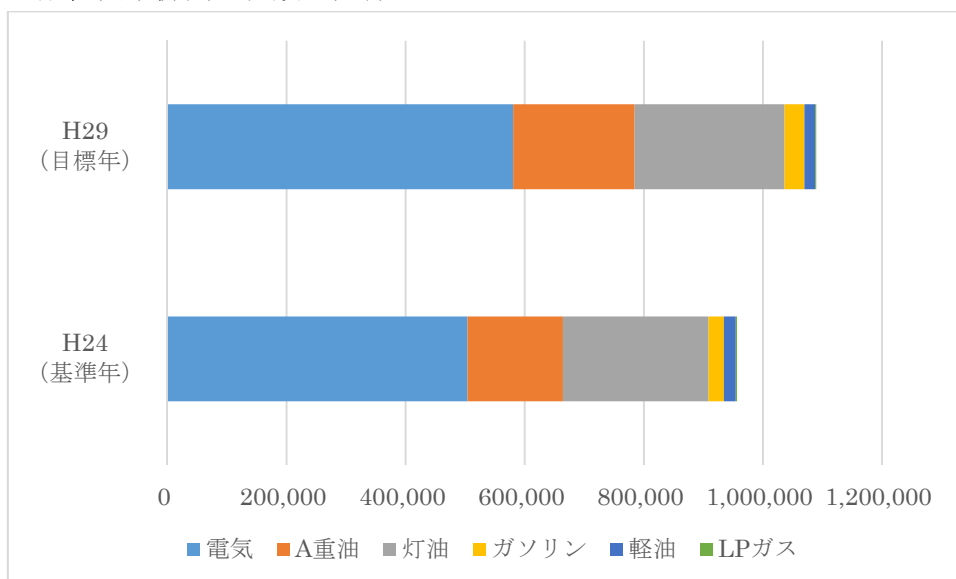
### 二酸化炭素排出量 (kg-CO2)

	電気	A 重油	灯油	ガソリン	軽油	LP ガス	合計
H24 (基準年)	503,964	160,090	244,642	25,875	19,909	2,190	956,670
H29 (目標年)	580,521	204,014	251,815	33,235	18,144	1,956	1,089,685
比	76,557	43,924	7,173	7,360	-1,765	-234	133,015
	13.2%	21.5%	2.8%	22.1%	-9.7%	-11.9%	12.2%

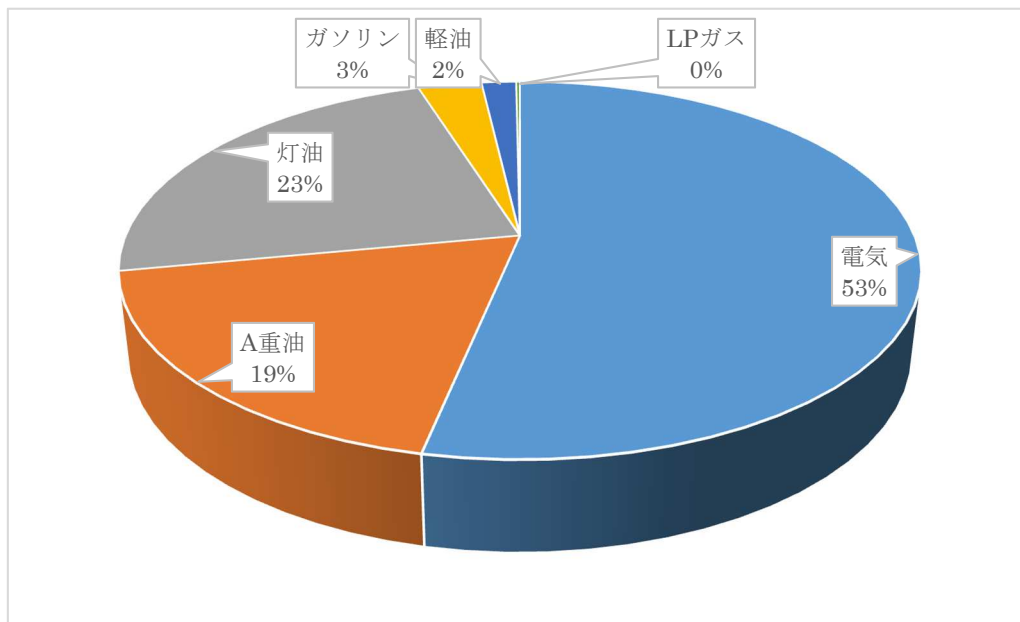
### エネルギー使用量

	電気 kWh	A 重油 L	灯油 L	ガソリン L	軽油 L	LP ガス m <sup>3</sup>
H24 (基準年)	1,174,741	59,082	98,270	11,145	7,702	367
H29 (目標年)	1,353,196	75,282	101,171	14,313	7,019	328

### 二酸化炭素排出量種類別割合

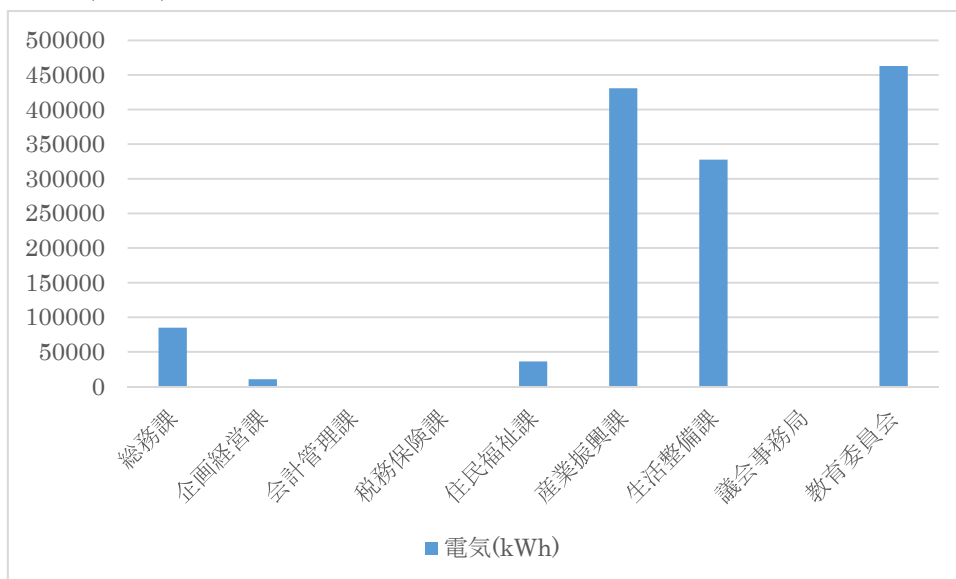


平成 29 年度二酸化炭素排出割合

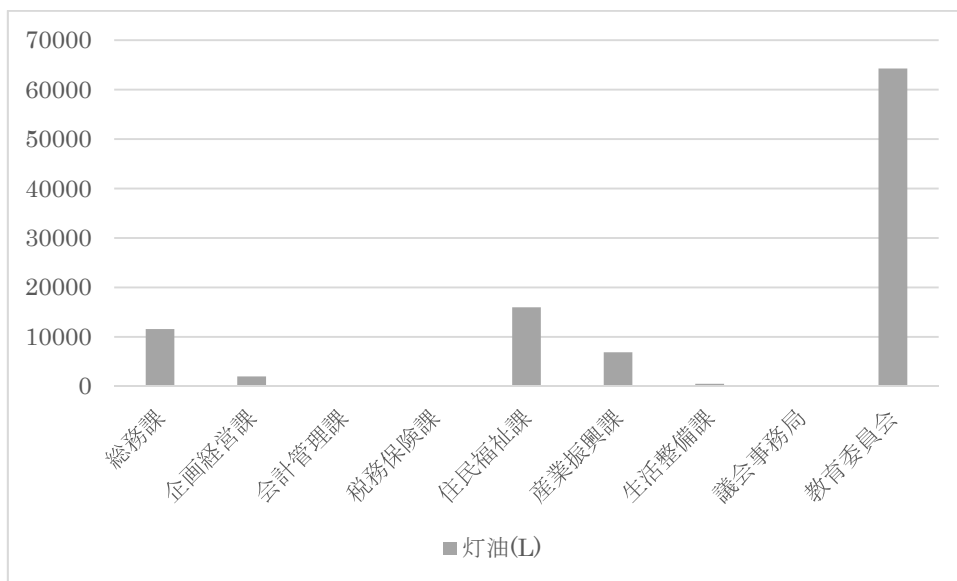


平成 29 年度燃料別エネルギー使用量

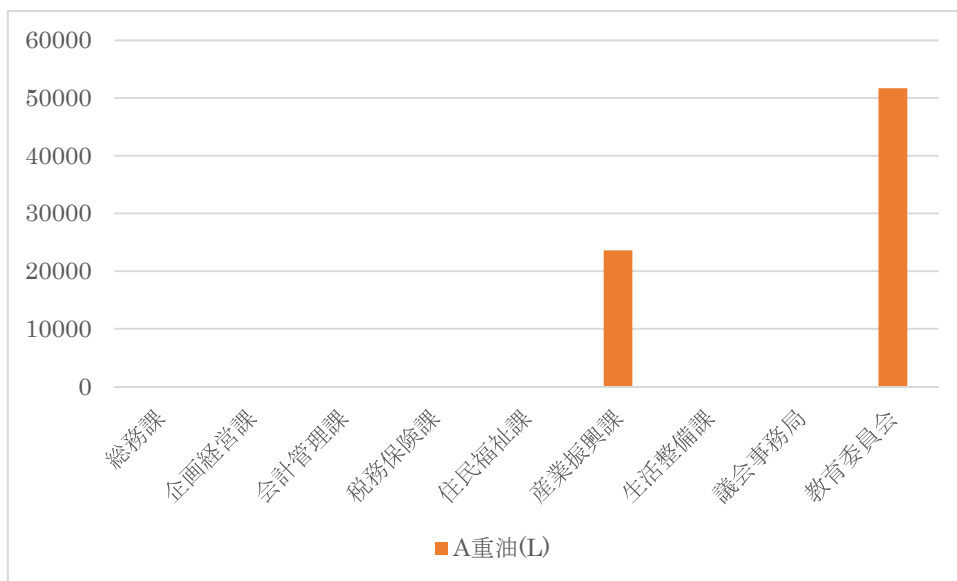
電気 (kWh)



### 灯油 (L)



### A重油 (L)



## VI 評価

大間町における二酸化炭素排出量の削減について、平成 24 年度を基準年度として 12.2%の増加となり、目標である 5%の削減を達成することはできませんでした。

増加となったエネルギーは電気、A 重油、灯油、ガソリンの 4 種類、減少となったエネルギーは軽油、LP ガスの 2 種類でした。

全体の 53%と、特に大きな割合を占める電気を詳しく見ると、学校関係の教育委員会、種苗センターがある産業振興課、下水処理施設がある生活整備課の 3 課が殆どを占めていました。

次に大きな 23%と大きな割合を占める灯油を見ると、学校関係の教育委員会が頭一つ分飛び抜けて使用量が大きいことがわかります。次に斎場がある住民福祉課、庁舎がある総務課、種苗育成センターのある産業振興課と続いています。

最後に 19%の割合を占めている A 重油を見ると、学校関係の教育委員会、開発センターと種苗育成センターのある産業振興課の 2 課で構成されています。

これらのほとんどがエネルギーを事業に使っているため削減することは難しい状況ではありますが、使わない電気を消したり、使わない暖房を消したり、設定温度を適切に保つ努力は必要であると考えます。

また、ガソリンの消費量増加率は 22.1%とかなり大きくなっています。軽油車の代替としてガソリン車に買い替えたり、業務量増加に伴い公用車を増やしたりということが要因と考えられます。今後は運転する職員がエコ運転を心がけたり、公用車を買う際にハイブリッド車や PHEV 車、電気自動車を優先して購入する検討をしていく必要があると考えます。